

医薬情報クラスター

(代表：薬学研究科 病態生理学 服部 豊)

医療情報クラスターは、「芝クラスター」の一つであり、基礎、臨床から社会医・薬学にいたるまで幅広い分野から、医療情報に深く携わる講座・教室が参加しています。

皆さんは、何のために現在の研究を行っているか考えてみたことはあるでしょうか？もしその目的が、「病める人を救う」といった社会への還元であるならば、その基本となる医療情報を効率よく収集し、自らも得られた研究成果を正しく評価し、それを世の中に発信してゆく方法論を知っておかなければなりません。たとえば、創薬は医・薬学分野で最も重要な研究領域ですが、その成果が実際にヒトに治療薬として用いられるには、新しい医薬品の分離合成、前臨床的検討、さらには臨床試験（治験）に至るまでクリアしなければならない重要ポイントがあります。当クラスターでは、医薬品開発研究の留意点や医療経済学にわたるまで、講義を通じて概説してゆきます。他方、堅苦しい話は抜きにして、医療の現場での業務経験の少ない方を対象に、診察や診断の方法、カルテの見方・書き方から、医療人として皆さんに期待することなど親しみやすい講義も準備しています。

当クラスター参加者には、芝共立キャンパスで行われる講義のうち少なくとも一つには参加していただき、short reportを提出していただきます。信濃町キャンパスでの自由参加セミナーも含めて、複数の講義・セミナーに積極的に参加することを強くお勧めします。ラボツアーおよびラボミーティングへの参加は必修とはせず、希望者に対して各人のニーズに合わせた参加の機会を設定する予定です。

本クラスターは、「芝クラスター」の一つであり、下記の研究室が含まれる。

キャンパス	所属	研究室責任者	研究室 URL
芝共立	病態生理学	服部 豊	http://www.pha.keio.ac.jp/laboratory/laboratory13.html
芝共立	医薬品情報学	望月 眞弓	http://www.pha.keio.ac.jp/laboratory/laboratory23.html
芝共立	臨床薬物評価学	諏訪 俊男	http://www.pha.keio.ac.jp/laboratory/laboratory20.html
信濃町	薬理学	安井 正人	http://web.sc.itc.keio.ac.jp/pharm/index-jp.html
信濃町	医療政策・管理学	池上 直己	http://web.sc.itc.keio.ac.jp/hpm/index-jp.html
信濃町	外科学	四津 良平	http://www.keio-cardiovascular-surgery.com/index.html

A) ラボツアー

必修とはせず、希望者を募って各人の要望にできるだけ添えるようにスケジュール調整を行う。希望者数が多い場合は、学生ハウプト（代表）を決めて窓口になっていただき、スケジュールを調整する。

B) 講義・セミナー

1. 医薬情報クラスター選択必修講義・セミナー

(医薬情報クラスターに参加している学生は下記のうちから最低 1 コマ以上受講することが必要。今後追加予定であり、下記についても日程等変更の可能性もあるため、最新情報は大学院GPのHPを各自参照のこと。)

1) 「疾患分子生物学特論」(芝共立キャンパス 3 号館 5 階大学院セミナー室)

◆2 限目 11:00～12:30

月・日・曜日	時限	講義	タイトル	担当者	備考
6 月 4 日(金)	2	講義	造血器腫瘍の新規治療	服部 豊	病態生理学講座
6 月 25 日(金)	2	講義	ゲノム医療の現状と将来の展望	吉田輝彦	国立がんセンター研究所 腫瘍ゲノム解析・情報研究部部長 疾病ゲノムセンター センター長

2) 「臨床薬物評価特論」(芝共立キャンパス 3 号館 5 階大学院セミナー室)

◆5 限目 16:40～18:10

月・日・曜日	時限	講義	タイトル	担当者	備考
4 月 26 日(月)	5	講義	治験と大規模臨床試験	千葉康司	臨床薬物評価学講座
5 月 24 日(月)	5	講義	臨床試験と生物統計 臨床評価における統計的推定とその解釈	栗林和人	ファイザー株式会社 統計・解析部 シニアマネージャー
5 月 31 日(月)	5	講義	国際共同治験 (1) 我が国の臨床研究の現状と問題点	高橋希人	Japanese Center of Pharmaceutical(JCPM) 副理事長
6 月 21 日(月)	5	講義	臨床薬物評価の実際	諏訪俊男	臨床薬物評価学講座

2. 医薬情報クラスター自由選択講義・セミナー

(医薬情報クラスターに参加している学生は聴講可能。今後追加予定であり、下記についても日程等変更の可能性もあるため、最新情報は大学院 GP の HP を各自参照のこと。)

1) 「臨床薬物評価特論」(芝共立キャンパス 3 号館 5 階大学院セミナー室)

◆5 限目 16:40～18:10

月・日・曜日	時限	講義	タイトル	担当者	備考
4 月 19 日(月)	5	講義	臨床試験の種類と意義	諏訪俊男	臨床薬物評価学講座
5 月 10 日(月)	5	講義	臨床試験計画のポイント	千葉康司	臨床薬物評価学講座
6 月 7 日(月)	5	講義	国際共同治験 (2) 国際共同治験への対応	高橋希人	Japanese Center of Pharmaceutical(JCPM) 副理事長
6 月 21 日(月)	5	講義	臨床薬物評価の実際	諏訪俊男	臨床薬物評価学講座

2)「薬理学系統講義」 (信濃町キャンパス講義会場新教育棟 2 階 講堂 1)

◆1 時限 9:00～10:30 ◆2 時限 10:45～12:15 ◆3 時限 13:00～14:30 ◆4 時限 14:45～16:15

月・日・曜日	時限	講義	タイトル	担当者	備考
5 月 26 日 (水)	3・4	講義	我が国の薬害問題	別府宏圀	
6 月 11 日 (金)	1・2	講義	神経系作用薬 II および臨床試験と新薬開発	佐藤裕史	

C) ラボ・ミーティングへの参加 (希望者のみ)

クラスター内で、それぞれの研究室のラボ・ミーティング等に参加を希望する場合は、研究室責任者が承認した範囲内において、事前連絡して守秘義務を負った上で、参加することができる。個人情報等諸般の事情により、研究室責任者が参加を認めないミーティングもありうるので、必ず事前に研究室責任者に直接問い合わせること。